

那覇市風致地区内における建築等の規制に関する条例施行規則に
定める様式を定める要綱

平成27年3月31日部長決裁

(趣旨)

第1条 この要綱は、那覇市風致地区内における建築等の規制に関する条例施行規則(平成27年那覇市規則第7号。以下「規則」という。)第10条の規定による別表第2(以下「規則別表第2」という。)に掲げる文書の様式を定めるものとする。

(様式)

第2条 規則別表第2に掲げる文書の様式は、別記様式のとおりとする。ただし、規則別表第2で割り振られた番号は、この要綱の別記様式での様式番号とみなす。

2 前項の様式番号については、必要に応じて枝番を付することができるものとする。

付 則

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

年 月 日

許 可 申 請 書

那覇市長 様

住 所

申請者 氏 名 印

電 話

(法人にあっては、その主たる事務所の所在地及び
名称並びに代表者の氏名)

那覇市風致地区内における建築等の規制に関する条例第3条第1項の規定により、関係書類を添えて、次のとおり申請します。

行 為 地	地 区 名	風致地区
	所 在	
	地 目	(ア)田 (イ)畑 (ウ)宅地 (エ)山林 (オ)原野 (カ)池沼 (キ)その他()
	現 況	
	用 途 地 域	地域 ・ 指定なし
	その他の区域等	区域 ・ その他()
	風致地区の種別	第1種風致地区 ・ 第2種風致地区 第3種風致地区 ・ 第4種風致地区
行 為 の 区 分	(ア)建築物の(新築 ・ 改築 ・ 増築 ・ 移転) (イ)工作物の(新築 ・ 改築 ・ 増築 ・ 移転) (ウ)建築物等の色彩の変更 (エ)宅地の造成 (オ)土地の開墾 (カ)その他の土地の形質の変更 (キ)水面の(埋立て・干拓) (ク)木竹の伐採 (ケ)土石の類の採取 (コ)屋外における土石、廃棄物又は再生資源の堆積	

行為の期間	年 月 日から 年 月 日まで			
代理人 (設計者等)	住所			
	氏名	印	電話	
工事施工者	住所			
	氏名	印	電話	
他の法令の規定により必要な許認可等	許認可等の名称	許認可等の申請年月日	許認可等の行政庁	許認可等の年月日及び番号
その他				
※受付欄		※処理欄		

【備考】

- この許可申請書には、設計説明書及び関係図書を添付してください。なお、変更の場合は、「その他」にその旨及び従前の許可書の年月日及び許可番号を記載して下さい。
- 該当の符号又は事項を○で囲んでください。
- 「行為地の現況」については、傾斜地と平坦地との別、建築物、工作物及び木竹の有無並びに樹林地、伐採跡地等の場合はその旨を記入してください。
- 「その他の区域等」については、地区計画区域、都市公園区域、鳥獣保護区域等に該当する場合、その旨を記入してください。
- 「他の法令の規定により必要な許認可等」とは、宅地造成等規制法、都市計画法その他の法令による許可、認可等をいい、これらが必要な場合は、そのすべてについて記入してください。
- ※の欄は、記入しないでください。
- 代理人(設計者等)により申請する場合は、委任状を添付してください。また、代理人(設計者等)が複数名の場合は、その全員を記載して下さい。

設 計 説 明 書

建築物

行為の区分	行為の概要				※摘要
1 建築物の		申請部分	申請以外の部分	合計	
(ア)新築	敷地面積				m ²
(イ)改築	建築面積	m ²	m ²	m ²	
(ウ)増築	建ぺい率	% (建築面積の敷地面積に対する割合)			
(エ)移転	延べ床面積	m ²	m ²	m ²	
	外壁後退距離	道路	m	m	m
	(壁面最近線)	隣地	m	m	m
	地盤面からの高さ		m	m	m
	建築物が周囲の地盤と接する位置の高低差		m	m	m
	用途	(ア)一戸建ての住宅 (イ)共同住宅(戸) (ウ)その他()			
	構造	(ア)木造 (イ)鉄筋コンクリート造 (ウ)その他()			
	階及び棟数	地上	階	地下	階、棟
	材料の種別、仕上げ方法及び色彩	屋根			
		外壁			
	緑地面積	m ²	内訳	自然の緑地	m ²
				人工の緑地	m ²
	緑地率	% (緑地面積の敷地面積に対する割合)			
	植栽の内訳	植栽区分	高木	中木	その他
		新植	本	本	
		既存	本	本	
		移植	本	本	
		計	本	本	

2 仮設の建築物 (ア)新築 (イ)改築 (ウ)増築 (エ)移転		申請部分	申請以外の部分	合計	
	敷地面積				m ²
	建築面積	m ²	m ²	m ²	
	延べ床面積	m ²	m ²	m ²	
	地盤面からの高さ	m	m	m	
	用途				
	構造	(ア)木造 (イ)鉄筋コンクリート造 (ウ)その他()			
	設置期間	年 月 日から 年 月 日まで			
	建築物を除却した場合の跡地の処理方法				

【備考】

- 1 該当の番号又は符号を○で囲んでください。
- 2 色彩については、色名を記入し、日本塗料工業会の色見本帳の色番及びマンセル値も記入してください。
- 3 「自然の緑地」の面積には、水面部分の面積も含めてください。
- 4 建築物を除却した場合の跡地の処理方法については、埋戻し、植栽、張芝、種子吹付け等の事項を具体的に記入してください。
- 5 変更の場合は、変更部分について変更前のものと変更後のものとが対比できるように2段書きとし、変更前のは黒書で下段に、変更後のは朱書で上段にそれぞれ記入してください。
- 6 ※の欄には、記入しないでください。

設 計 説 明 書

工作物

行為の区分	行為の概要				※摘要	
1 工作物の (ア)新築 (イ)改築 (ウ)増築 (エ)移転	工作物の種類					
	敷地面積				m ²	
	用途					
	構造		(ア)木造 (イ)鉄骨造 (ウ)石造 (エ)ブロック造 (オ)鉄筋コンクリート造 (カ)その他()			
			申請部分	申請以外の部分	合計	
	規	水平投影面積	m ²	m ²	m ²	
		長さ	m	m	m	
		最高の高さ	m	m	m	
	模	その他				
	外部の材料の種類別、仕上げ方法及び色彩					
	2 仮設の工 作物 (ア)新築 (イ)改築 (ウ)増築 (エ)移転	工作物の種類				
用途						
構造		(ア)木造 (イ)鉄骨造 (ウ)その他()				
規		水平投影面積	m ²	m ²	m ²	
		長さ	m	m	m	
		最高の高さ	m	m	m	
模		その他				
設置期間		年 月 日から 年 月 日まで				
工作物を除却した場合の跡地の処理方法						

【備 考】

- 1 該当の番号又は符号を○で囲んでください。
- 2 「敷地面積」は、当該行為が建築物の敷地内で行われるものである場合は建築物の敷地面積を記入し、当該行為が建築物の敷地外で行われるもので敷地面積を算定しがたい場合は記入する必要はありません。
- 3 「水平投影面積」は、すべての工作物について記入してください。なお、工作物が2以上の場合は、個々の面積と合計面積を記入してください。
- 4 「規模」のうち「その他」については、幅員、面積、容積等を記入してください。
- 5 色彩については、色名を記入し、日本塗料工業会の色見本帳の色番及びマンセル値も記入してください。
- 6 「工作物を除却した場合の跡地の処理方法」については、埋戻し、植栽、張芝、種子吹付け等の事項を具体的に記入してください。
- 7 変更の場合は、変更部分について変更前のものと変更後のものが対比できるように2段書きとし、変更前のは黒書で下段に、変更後のは朱書で上段にそれぞれ記入してください。
- 8 ※の欄は、記入しないでください。

設 計 説 明 書

建築物等の色彩の変更

行為の区分	行 為	の 概 要	※摘要
建築物等の色彩の変更	色彩の変更を行う 建築物等の用途		
	色彩の変更を行う 部分		
	現 在 の 色 彩		
	変 更 後 の 色 彩		
	色彩の変更を行う 面積		
	色彩の変更に用い る材料		

【備 考】

- 1 色彩については、色名を記入し、日本塗料工業会の色見本帳の色番及びマンセル値も記入してください。
- 2 色彩の変更に用いる材料については、具体的に記入してください。
- 3 ※の欄は記入しないでください。

様式第2-4号(規則第2条関係)

設 計 説 明 書

宅地の造成、土地の開墾その他の土地の形質の変更、水面の埋立て又は干拓、土石の類の採取

行為の区分	行為の概要					※摘要	
1 宅地の造成、土地の開墾その他の土地の形質の変更	行為の場所	(ア)建築物の敷地内 (イ)建築物の敷地外		行為面積	m ²		
	隣接地の現況						
	跡地の処理方法						
	生ずるのり面の最高の高さ						
	移動土量	切土	m ²	客土	m ²		
		盛土	m ²	その他()	m ²		
	緑地面積	m ²	内訳	自然の緑地	m ²		
				人工の緑地	m ²		
	緑地率	(緑地面積の敷地面積に対する割合)				%	
	植栽の内訳	植栽区分	高木	中木	その他		
新植		本	本				
既存		本	本				
移植		本	本				
計		本	本				
2 水面の埋立て又は干拓	水面面積	m ²		埋立て又は干拓面積	m ²		
	隣接地の現況						
	跡地の処理方法						
	施工方法						

3 土石の類 の採取	採取区域面積	m ²	採 取 量	m ²	
	採取土石類の 種類				
	採 取 方 法	(ア)横杭堀 (イ)縦杭堀 (ウ)斜杭堀 (エ)その他()			
	運 搬 方 法				
	跡地の処理方 法				

【備 考】

- 1 該当の番号又は符号を○で囲んでください。ただし、「行為の区分」の欄は、2以上の行為を併せて行う場合は、それぞれについて記入してください。
- 2 「隣接地の現況」については、林地、伐採跡地、草生地等の別及び木竹、建築物、工作物の有無を記入してください。
- 3 「跡地の処理方法」については、裸地、砂利舗装、埋戻し等及びのり面の芝、コンクリートブロック擁壁、放置等について具体的に記入してください。
- 4 「移動土量」のうちその他については、堀削、搬出等を具体的に記入してください。
- 5 「採取方法」のうち(エ)その他については、採取方法を具体的に記入してください。
- 6 変更の場合は、変更部分について変更前のものと変更後のものが対比できるように2段書きとし、変更前のは黒書で下段に、変更後のは朱書で上段にそれぞれ記入してください。
- 7 ※の欄は、記入しないでください。

設 計 説 明 書

木竹の伐採

行為の区分	行為の概要		※摘要	
1 森林地内の伐採	伐採の目的			
	伐採区域面積	m ²		
	伐採区域の林相	(ア)針葉樹林 (イ)広葉樹林 (ウ)針広混交樹林 (エ)竹林		
	疎密度			
	伐採区域の林齢又は林齢範囲			
	伐採量	m ²		
	伐採主要樹種			
	伐採方法	(ア)皆伐 (イ)択伐		
	伐採後の跡地の処理方法			
	隣接地の現況			
2 森林地外の伐採	(1) 集団をなす木竹の伐採	伐採の目的		
		伐採区域面積	m ²	
		伐採区域の主要樹種		
		伐採区域の樹齢又は樹齢範囲		
		伐採量	本 m ²	
		伐採主要樹種		
		伐採方法	(ア)皆伐 (イ)択伐(択伐率 %)	
		伐採後の跡地の処理方法		
		隣接地の現況		

	(2) 立 木 竹 の 伐 採	伐採の目的					
		樹種名	樹齢	樹高	胸高直径	本数	
			約年	m	m	本	
			約年	m	m	本	
		約年	m	m	本		

【備考】

- 1 該当の番号又は符号を○で囲んでください。
- 2 「疎密度」は、樹冠投影面積の10分比で表してください。
- 3 「伐採後の跡地の処理方法」については、植栽、放置等を記入してください。
- 4 「隣接地の現況」については、土地の状況並びに木竹、建築物、工作物等の有無及びその種類等を記入してください。
- 5 「択伐率」とは、伐採区域における総材積に対する択伐量のことです。
- 6 「胸高直径」とは、1.3メートルの地上高の幹直径をいい、双幹以上のものは、各幹直径の合計70パーセントを採り、1.3メートルのところが枝の分れ目であるときは、すぐ下部の寸法を採用してください。
- 7 変更の場合は、変更部分について変更前のものと変更後のものが対比できるように2段書きとし、変更前のものは黒書で下段に、変更後のものは朱書で上段にそれぞれ記入してください。
- 8 ※の欄は記入しないでください。

設 計 説 明 書

屋外における土石、廃棄物又は再生資源の堆積

行為の区分	行為	概要	※摘要
屋外における土石、廃棄物又は再生資源の堆積	堆積物の種類		
	敷地面積		m ²
	堆積区域面積		m ²
	堆積量		
	堆積によって生ずる最高の高さ		m
	隣接地の現況		
	堆積後の処理方法		

【備 考】

- 1 「堆積物の種類」については、具体的に記入してください。
- 2 「隣接地の現況」については、林地、伐採跡地、草生地等の別及び木竹、建築物、工作物の有無を記入してください。
- 3 「堆積後の処理方法」については、種子吹付、のり面の芝、放置等について具体的に記入してください。
- 4 ※の欄は記入しないでください。

様式第3号(規則第3条関係)

那覇市指令都建第 号
年 月 日

許 可 書

住 所
氏 名

那覇市長 印

年 月 日付け申請のあった風致地区内建築行為等については、那覇市風致地区内における建築等の規制に関する条例第5条の規定により、次のとおり許可する。

行 為 地	
行 為 の 区 分	
許 可 の 条 件	
そ の 他	

【留意事項】

- 1 建築主等、設計者又は工事施工者の住所又は氏名に変更があった場合は、住所氏名変更届(様式第4号)により、その旨を速やかに、届け出て下さい。
- 2 許可に係る行為が完了したとき、又は中止しようとするときは、行為完了・中止届(様式第5号)により、その旨を速やかに、届け出て下さい。
- 3 風致地区内行為許可標識(様式第6号)を作成し、許可に係る行為が完了するまでの間、当該許可を受けた行為に係る土地の区域内の見やすい場所に設置して下さい。

様式第4号(規則第4条関係)

年 月 日

住 所 氏 名 変 更 届

那覇市長 様

住 所

届出者 氏 名

印

電 話

(法人にあつては、その主たる事務所の所在地及び
名称並びに代表者の氏名)

那覇市風致地区内における建築等の規制に関する条例施行規則第4条第1項の規定により、次のと
おり届け出ます。

建築主等の住所及 び氏名	新	住 所	
		氏 名	
	旧	住 所	
		氏 名	
代理人(設計者等) の住所及び氏名	新	住 所	
		氏 名	
	旧	住 所	
		氏 名	
工事施工者の住所 及び氏名	新	住 所	
		氏 名	
	旧	住 所	
		氏 名	
許可の年月日及び番号	年 月 日 那覇市指令都建第 号		
変 更 の 理 由			

年 月 日

行為完了・中止届

那覇市長 様

住 所

届出者 氏 名 印

電 話

(法人にあっては、その主たる事務所の所在地及び
名称並びに代表者の氏名)

風致地区内の行為を(完了、中止)したので、那覇市風致地区内における建築等の規制に関する条例施行規則第4条第2項の規定により、次のとおり届け出ます。

許可を受けた行為の許可の 年月日及び番号	年 月 日 那覇市指令都建第 号
行 為 地	
行為(完了・中止)年月日	年 月 日
行 為 中 止 の 理 由	

【備 考】

- 1 完了、中止のうち、該当するものを○で囲んでください。
- 2 行為の完了の届出の場合は、許可の内容が確認できるよう、完了後の状況カラー写真を添付してください。

様式第6号(規則第5条関係)

風 致 地 区 内 行 為 許 可 標 識	
許可の年月日及び番号	年 月 日 那覇市指令都建第 号
行為者の住所及び氏名	
許可を受けた行為の内容	
許 可 の 条 件	
行 為 の 期 間	年 月 日から 年 月 日まで

【備 考】

- 1 許可標識は、縦30センチメートル以上及び横50センチメートル以上の大きさにすること。
- 2 「行為者の住所及び氏名」欄には、法人にあつては主たる事務所の所在地及び名称並びに代表者の氏名を記載すること。

様式第7号(規則第6条関係)

協 議 書

年 月 日

那覇市長 様

住 所

協議者 氏 名

印

電 話

那覇市風致地区内における建築等の規制に関する条例第3条第3項の規定により、関係書類を添えて、次のとおり協議します。

行 為 地	地 区 名	風致地区
	所 在	
	地 目	(ア)田 (イ)畑 (ウ)宅地 (エ)山林 (オ)原野 (カ)池沼 (キ)その他()
	現 況	
	用 途 地 域	地域 ・ 指定なし
	その他の区域等	区域 ・ その他()
	風致地区の種別	第1種風致地区 ・ 第2種風致地区 第3種風致地区 ・ 第4種風致地区
行 為 の 区 分	(ア)建築物の(新築 ・ 改築 ・ 増築 ・ 移転) (イ)工作物の(新築 ・ 改築 ・ 増築 ・ 移転) (ウ)建築物等の色彩の変更 (エ)宅地の造成 (オ)土地の開墾 (カ)その他の土地の形質の変更 (キ)水面の(埋立て・干拓) (ク)木竹の伐採 (ケ)土石の類の採取 (コ)屋外における土石、廃棄物又は再生資源の堆積	

行為の期間	年 月 日から		年 月 日まで	
代理人 (設計者等)	住所			
	氏名	印	電話	
工事施工者	住所			
	氏名	印	電話	
他の法令の規定により必要な許認可等	許認可等の名称	許認可等の 申請年月日	許認可等の 行政庁	許認可等の 年月日及び番号
その他				
※受付欄		※処理欄		

【備考】

- この協議書には、設計説明書及び関係図書を添付してください。なお、変更の場合は、「その他」にその旨及び従前の協議書の受付年月日及び番号を記載して下さい。
- 該当の符号又は事項を○で囲んでください。
- 「行為地の現況」については、傾斜地と平坦地との別、建築物、工作物及び木竹の有無並びに樹林地、伐採跡地等の場合はその旨を記入してください。
- 「その他の区域等」については、地区計画区域、都市公園区域、鳥獣保護区域等に該当する場合、その旨を記入してください。
- 「他の法令の規定により必要な許認可等」とは、宅地造成等規制法、都市計画法その他の法令による許可、認可等をいい、これらが必要な場合は、そのすべてについて記入してください。
- ※の欄は、記入しないでください。
- 代理人(設計者等)により申請する場合は、委任状を添付してください。また、代理人(設計者等)が複数名の場合は、その全員を記載して下さい。

年 月 日

通 知 書

那覇市長 様

住 所

通知者 氏 名 印

電 話

(法人にあつては、その主たる事務所の所在地及び
名称並びに代表者の氏名)

那覇市風致地区内における建築等の規制に関する条例第4条の規定により、関係書類を添えて、
次のとおり通知します。

行 為 地	地 区 名	風致地区
	所 在	
	地 目	(ア)田 (イ)畑 (ウ)宅地 (エ)山林 (オ)原野 (カ)池沼 (キ)その他()
	現 況	
	用 途 地 域	地域 ・ 指定なし
	その他の区域等	区域 ・ その他()
	風致地区の種別	第1種風致地区 ・ 第2種風致地区 第3種風致地区 ・ 第4種風致地区
行 為 の 区 分	(ア)建築物の(新築 ・ 改築 ・ 増築 ・ 移転) (イ)工作物の(新築 ・ 改築 ・ 増築 ・ 移転) (ウ)建築物等の色彩の変更 (エ)宅地の造成 (オ)土地の開墾 (カ)その他の土地の形質の変更 (キ)水面の(埋立て・干拓) (ク)木竹の伐採 (ケ)土石の類の採取 (コ)屋外における土石、廃棄物又は再生資源の堆積	

別表第2に掲げる行為	別表第2 第 項の規定による行為			
行為の期間	年 月 日から		年 月 日まで	
代理人 (設計者等)	住所			
	氏名	印	電話	
工事施工者	住所			
	氏名	印	電話	
他の法令の規定により必要な許認可等	許認可等の名称	許認可等の申請年月日	許認可等の行政庁	許認可等の年月日及び番号
その他				
※受付欄		※処理欄		

【備考】

- この通知書には、設計説明書及び関係図書を添付してください。なお、変更の場合は、「その他」にその旨及び従前の通知書の受付年月日及び番号を記載して下さい。
- 該当の符号又は事項を○で囲んでください。
- 「行為地の現況」については、傾斜地と平坦地との別、建築物、工作物及び木竹の有無並びに樹林地、伐採跡地等の場合はその旨を記入してください。
- 「その他の区域等」については、地区計画区域、都市公園区域、鳥獣保護区域等に該当する場合、その旨を記入してください。
- 「他の法令の規定により必要な許認可等」とは、宅地造成等規制法、都市計画法その他の法令による許可、認可等をいい、これらが必要な場合は、そのすべてについて記入してください。
- ※の欄は、記入しないでください。
- 代理人(設計者等)により申請する場合は、委任状を添付してください。また、代理人(設計者等)が複数名の場合は、その全員を記載して下さい。

様式第9号(規則第9条関係)

(表)

年	月	日	交付第	号
身分証明書				
所 属				
氏 名				
上記の者は、那覇市風致地区内における建築等の規制に関する条例第7条第1項の規定により、風致地区内の土地若しくは物件又は工事現場に立ち入ることができる者であることを証明する。				
那覇市長				印

(裏)

那覇市風致地区内における建築等の規制に関する条例(抜粋)

(立入検査)

第7条 市長又はその命じた者若しくは委任した者は、前条第1項の規定による権限を行うため必要がある場合においては、風致地区内の土地に立入り、当該土地若しくは当該土地にある物件又は当該土地において行われている工事の状況を検査することができる。

2 前項の規定により他人の土地に立ち入ろうとする者は、その身分を示す証明書を携帯しなければならない。

3 前項の証明書は、関係人の請求があったときは、これを提示しなければならない。

4 第1項の規定による立入検査の権限は、犯罪捜査のために認められたものと解してはならない。

【備 考】

身分証明書は、縦5センチメートル及び横8.5センチメートルの大きさにすること。